

# 補助金の交付要綱策定と適正な運用を

## 総務委員会

九月定例会で、当委員会に付託された議案は、議案7件、認定6件、陳情1件であります。主たる審議は、合併前に執行された旧5町の決算審査であり、これら審査の結果が、来年度予算に反映されるよう要望したいと

- なものは次のとおりです。
- 一、教育環境の計画的な整備
- 一、若者定住対策や結婚推進のあり方
- 一、バス路線の廃止に伴う市内交通網の整備計画
- 一、各種補助金の交付要

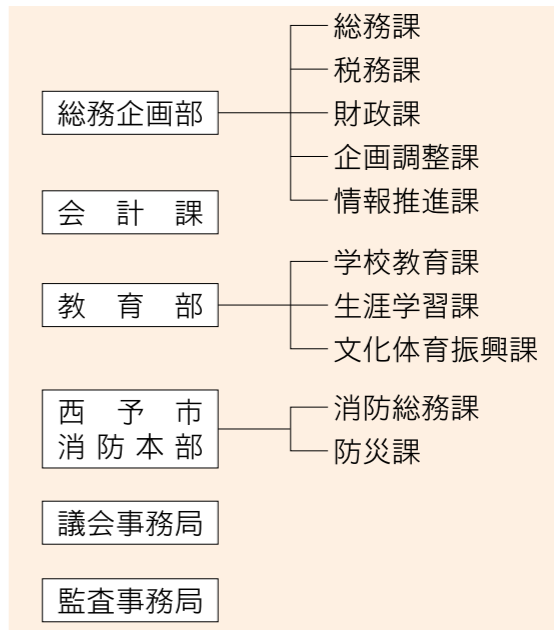
綱の策定と効率的な運用

- 一、消防の広域体制と分署の救急体制等について

西予市行政改革推進委員会設置条例の制定については行政改革は、西予市の重要議題でもあり、広く住民の声を反映する必要から、原案のとおり全会一致で可決しました。その他提案された、16

年度一般会計補正予算についても、関係部課長出席のもと、審査の結果原案のとおり可決しました。

総務常任委員会所管で予算・決算等について審査いたします関係部署は次のとおりです。



# 膨らむ社会保障 将来どう対応する

## 厚生委員会



雨の中現地視察する委員

9月定例会で、当委員会に付託された全議案につきまして、9月17日から30日の日程で審査致しました。今回の委員会では、特に合併前の旧5町の決算認定の審査が主な審査内容となりました。主な審査内容について御報告

致します。

□合併浄化槽の補助金について

今年度の合併浄化槽に対する補正は明浜、城川、三瓶分で5人槽8基7人槽7基、10人槽1基分です。

□粗大ごみ処分料の補正額について

旧三瓶・明浜・宇和町に

ついては、合併前は粗大ごみの処分料は無料でした。合併後は5町が一律で有料に成るため、3月末までに大量の粗大ごみが発生いたしました。これに対する処分料として4千9百98万円補正するものです。委員会では公平性という観点で補正が認められるかどうか議論

致しました。議論の結果合併という特殊事情を考慮し原案可決致しました。今後市全体でごみの減量化をどうするかについて議論致しました。

□戸籍謄本等のシステム上の問題について

電算化に伴って、戸籍謄本上の記載方法が変わって、不便を期しているの

# 委員会審査

ではないかという意見がありました。市単独でシステムを構築する物でない為、理解致しました。

□国保会計について

国保の滞納徴収については、引き続き最善の努力を要求し、坂石診療所、惣川診療所については、行政負担が大きいが、地理的条件を考え、地域医療の一次医療に支障をきたさない範囲での改善策を要望致しました。

□決算認定の総括

5町とも厳しい予算の中で、良く検討をされて予算執行がなされています。特に決算資料として、旧城川町がよく整理整頓



老朽化が進む宇和病院

が出来ていましたので、西予市もこれに準じて頂きたいと要望致しました。

をより具体的に打ち出し、早期に体制の見直しを行うべきであるとの意見がありました。

■旧町決算報告を通じて、厳しい財政状況の中ではありますが、西予市の当面する課題に対して真摯に向き合い、適切な行政運営の執行と、市としての一体感が感じられる市

民生活の実現を要望しました。

以上、第一回定例会における委員会審査を行いました。

# 台風被害を追い・全員現地直行

## 産業建設委員会

産業建設常任委員会では9月17日から24日までの4日間にわたり、本会議において付託を受けた議案、認定、及び陳情について慎重に審議を行いました。

今回は台風10、16、18

とからも災害対応が中心の委員会となりました。会期中に幾度も現地へ出向き、被害状況の把握に努めました。以下、総括的に審議を行いました点についてご報告します。

■今回の3つの台風はそれぞれ未曾有の豪雨、暴風、高波を伴い、公共施設をはじめ農林水産業施

設、農林水産物に甚大な被害をもたらし、住民生活と地域経済に深刻な影響を及ぼしています。国・県・当局に対して早期復旧と再度災害防止の措置を強く要望しました。

■西予市の基幹産業である第1次産業においては、台風災害が結果として後継者不足を招く悪循環を

生みだすこととなります。市長の政策にある「産業創造戦略会議」の中に、農業従事者の持久力をつける方針を盛り込んでいただくべきとの要望がありました。

■第3セクターの運営方法について、旧態依然とした状態が続いています。赤字を減らすための方策



委員会現地視察